



例会紹介

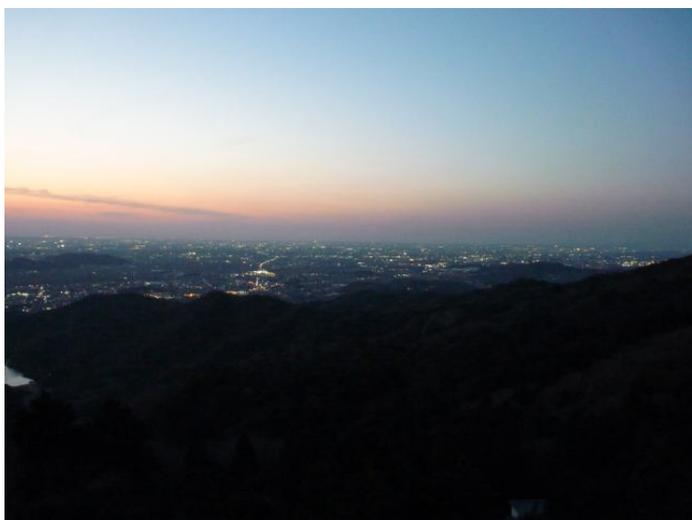
第922回花見例会 2011年4月6日(水) 午後17時30分より 担当：計画委員会 会場：ホテル天の丸

◇遠峰山の山頂の桜はもう少し待たなければなりませんでした。未曾有の震災の只中にある人たちがその人たちを救援する人たちの思うところとは此処に在らずという会員が多かったように思います。
◇震災発生後間もない3月19日「献血キャンペーン」を行い、その翌週26日には「薬物乱用防止キャンペーン」を行いました。労をねぎらう意味でも花見はよかったのかもしれませんが、心は晴れなかった会員が多かったようです。

◇例会とその後の懇親会は会場を別にして行われました。

例会では、東日本大震災への当クラブの義援金をLCIFへ送金することを決定しました。今後についても被災地の情報収集をして適宜必要に応じて行動することを確認しました。

◇例会後、次年度全体会議が行われ、次年度に向けた準備が全会員に告知されました。



この空の下には今も避難所で生活する人がいます。



例会終了後開催された 次年度準備全体会議



東日本大震災被災地へ勇気と希望を届けよう

ライオンズクラブ国際協会334-A 4R1Z 岡崎竜城ライオンズクラブ

被災地で活動する



当クラブにも現地に入って活動する会員がいます。震災直後に彼は個人で給水車とダンプカーを調達し、その車輜と支援物資を積んで大学生ボランティア6名と共に現地へ赴いたそうです。その時は給水車で水を配るくらいで殆んど活動ができず、給水車とダンプカーは現地で役立てもらうように寄付し、後日あらためて被災地に戻り、今度は被災者と一緒に生活を立て直すために泥の除去などを行っていました。「被災した人たちと共に活動してみると心の声が聞ける。それが活力になる」と言っております。今は愛知県に戻り被災地復興支援のための募金活動でボランティア団体のメンバーと共に自ら街頭に立って協力を呼びかけております。地位や名誉のためではない名も無き奉仕者の奮闘です。

目次：

例会紹介 第922回例会	1
被災地で活動する	1
例会紹介 第923回例会	2



Lions Around the World
Mobilizing to Provide
Assistance to Japan

Learn About Lions, LCIF Relief
Efforts and How You Can Help

☆ライオンズクラブ国際協会公式WEB[®] -ジ
<http://www.lionsclubs.org>

☆複合地区ガバナ協議会議長連絡会議WEB[®] -ジ
<http://japan-8md.sakura.ne.jp>

☆ライオン誌日本語版WEB[®] -ジ
<http://www.thelion-mag.jp>

例会紹介

第923回例会 2011年4月27日(水) 午後12時30分より 担当：青少年育成委員会 会場：定例会場

●東日本大震災発生から1ヶ月半が経過しました。被災地へのはたらきかけも救援活動から復興支援へと時の経過とともに表面上は変わってきています。

●会長挨拶のなかで、当クラブの姉妹クラブである会津若松鶴城LCへ、会長よりお見舞い状を出された旨の報告がありました。福島第一原発からの避難者が多くいらっしゃる会津若松に援助も考えたいと私たちクラブ員は考えております。

●4月生まれの会員にお祝い品の贈呈。4月にご結婚された会員にお祝い品の贈呈がありました。

●卓話「震災後の日本の経済」と題して わがクラブの会員である上野ライオンにお願いしました。

講師の上野氏は経済の難しい題材をwitで円くしてお話になられます。論点を押さえ、限りなく明快に話をまとめられます。悲観的になるも楽観的になるも、お話を聞く側のその人の置かれている立場で受け止め方が大きく変わるお話はこの方が良いと思います。卓話の論旨は以下の様でした。

◆このたびの震災による経済面への影響は“供給ショック”であって、3年前のリーマンショックのように需要が失われたわけではない。最も大きな問題として取り上げられるケースは、自動車の生産に関する事。自動車のエンジンを制御するマイコンを製造する半導体工場の被災とその後の復旧の進捗状況がサプライチェーンの途絶となり、世界的に需要はあるが供給できないことで経済活動が鈍化している。

原発事故の収束への工程、また電力の供給不足の想定など、このような問題の積み上げによって直近の4-6月期では経済成長率に換算した場合、震災前の予測に比べ▲4%となり震災による影響は回避しようがない。

上野流聴衆取り込み術 生きた経済指標 新幹線の旅客数を紹介した。

人の移動はそのまま経済活動であるということです。

東北新幹線の はやぶさ グランクラスはワイン飲み放題という話題で場を和ませながら、

◆経済活動の正常化は日本の誇るネットワークパワーで復活する。

ケーススタディー① 1997年2月 アイシン精機の工場火災

トヨタ車の全車種で使用していたブレーキ用ピストンバルブの供給停止を全トヨタの総力によって10日間で復旧させた。

ケーススタディー② 中越沖震災により被災した リケン

エンジンのピストンシリンダーヘッドに装着するピストンリングの製造会社であるリケンが震災により製造工場の稼働が停止した。生産ライン復旧に自動車会社の垣根を超えての人的支援の甲斐あって半月余りで復旧した。

ケーススタディー③ 3・11東日本大震災により ルネサスエレクトロニクス被災

既に2000名を超える人材がトヨタ自動車から派遣され復旧に向けて活動している。生産の部分再開を7月中旬としていたものを1ヶ月前倒できた。

◆秋口には経済の正常化が見えそうだ。しかし製造拠点のアジアシフトは進行するため全てが元に戻るということはないと考えられる。

◆復興に向けて巨額な財政出動が必要となり、財政は一段と悪化する。

3月21日に公表されたOECDの「対日経済審査報告書」を取り上げ、財政問題を除けば2012年の経済成長率は2.3%が見込まれる。財政の建て直しのために段階的に消費税を上げる。最終的には欧州並みの20%に引き上げるべきというコメントを一つの意見として紹介した。財政問題に触れると3時間は必要ということで割愛され、卓話の幕となりました。



編集後記

今月号は例会を紹介しました。例会出席はライオンの義務だと入会前のオリエンテーションの場で教えられました。入会後では例会出席こそがボランティア活動の第一歩と謂われた先輩も居られました。実際に例会出席は定期的にライオンであることを自覚する場となりライオンズムを確認するために必要だと思います。今一度例会の持つ意義の本質を問い直し、例会の質を高め、自らの内にLiberty Intelligence Our Nations Safetyを刻み、社会の手本となる品格を会得する機会としたいものです。誇りあるライオンズクラブを健全に存続させるために。